

※「かだる」という言葉は岩手県の方言で「参加する」「集う」「加わる」などを意味します。

編集・発行

コーサポいわて（高齢者社会貢献活動サポートセンター）

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

TEL 019-606-1774 FAX 019-606-1765

ホームページ <http://www.aiina.jp/advancedage>

発行日

令和4年7月27日

## 地域の話題

### 認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを推進します

「チームオレンジたきざわ」（滝沢市） リーダー：南館 勇雄 会員20人

#### ○ 概要

「チームオレンジたきざわ」は、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりの推進を目的に、令和3年12月22日に開催された「チームオレンジサミットたきざわ」の中で結成式を行いました。活動を開始して半年ですが、ご近所支え合い活動助成金を活用し、現在は月1回の認知症カフェ『カフェ・ド・たきざわ』の活動を始めています。



#### ○ 背景・立上げまで

現在、滝沢市の高齢者人口は14,000人を超え、およそ2,100人の認知症の方がいると見込まれており、認知症の当事者やご家族が地域で暮らしていくための支援として、公的支援の狭間を埋めるボランティアによる活動と、地域への普及啓発が欠かせない状況になってきています。

「チームオレンジ」の立ち上げに向けては、滝沢市地域包括支援センターで平成29年度から実施している「認知症サポーターステップアップ講座」を受講した認知症サポーターを中心に、10回のワークショップを行って、目標や活

動内容についての話し合いを行いました。この神経内科脳神経外科クリニックの紺野敏昭先生や岩手県立大学の狩野副学長にも助言をいただき課題を整理しながら、まずは当事者や家族が集える「認知症カフェ」の活動を始めることにしました。

#### ○「カフェ・ド・たきざわ」の様子

カフェでは、当事者や家族、チームオレンジのメンバー等毎回20人程が集い、豆知識が得られるミニ講話やストレッチなどの活動のほか相談対応なども行っています。感染状況によっては中止を検討したこともありましたが、飲み物は各自用意する等の工夫をしながら、なるべく休まず実施しています。

#### Café de たきざわ（カフェドたきざわ）



#### 参加者さんによるバルーンアート



#### ○ 活動理念と目標

チームオレンジたきざわでは、当初の話し合いの中で「認知症カフェ」「見守り」「普及啓発」を活動の柱にしようと決めました。そして、「認知症を公表してもいいと思える地域づくり」を理念として、また、「認知症であっても声をかけあえる」「認知症を個性と捉えて個性を尊重し合える」地域を目標として活動しています。



#### ○ 課題と展望

チームオレンジたきざわの課題は、常駐する活動拠点が決まっていないことです。現在、ビッグルーフ滝沢に団体登録を行い、活動スペースを借りていますが、将来的には認知症サポーターが常駐できる活動拠点が必要と考えています。また、メンバーからは「お話の聞き方や対応をもう少し学びたい」「傾聴ってどんなこと？」という意見もあるため、活動を進めていく中でスキルアップの研修も予定しています。

将来的には、畑を借りて当事者や地域の人と一緒に野菜作りを行う活動や、見守りなどの訪問支援などの検討を進めて行くことにしています。

県は、「幸福」をテーマとして「いわて県民計画（2019～2028）」の一層の推進を図るため、幸福度の向上につながるトレンドや、国内外における「幸福」をめぐる動きを紹介するとともに、県の施策や今後の方向について広く県民に伝えるため、2020年度から「いわて幸福白書」を毎年公表しています。

「いわて幸福白書 2022」の第3部『希望郷いわて』の今では、県民の幸福感の現状や、幸福度の向上に向けた県の取組・成果を紹介しています。

## 県民の幸福感の現状

主観的幸福感とは、県民意識調査で「あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。」という設問に対し、5段階で把握したものです。その結果、幸福と感じている人の割合は令和3年で55.4%と50%を上回っています。

また、同調査の「あなたが幸福かどうかを判断する際に重視した事項は何ですか。」という設問に関しては、重視する割合が高い順に「健康状況」74.4%、「家族関係」69.9%、「自由な時間・充実した余暇」56.0%という回答結果となっています。

## 政策分野Ⅰ「健康・余暇」

県では、政策推進の基本方向「10の政策分野」のもと、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開していますが、そのうち政策分野Ⅰの「健康・余暇」分野においては、「健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手」を目指しています。

県民意識調査で、「こころやからだ健康だと感じますか」という設問に対する、県民の実感の平均値は、基準年である平成31年は5点満点中の3.00点でしたが、令和3年は3.07点と上昇しています。

一方で、「余暇が充実していると感じますか」という設問については、平成31年の3.05点に対し令和3年は2.97点と、実感平均値は低下しています。

## 幸福関連指標

さらに、幸福に関連する客観的指標であるいわて幸福関連指標においては、健康寿命（平均自立期間）が、男性が平成29年度で79.32年、令和2年度で79.80年、女性は平成29年度で83.96年、令和2年度で84.31年と男女ともに向上していますが、余暇時間（一日あたり）は、平成29年度で373分、令和2年度で370分とやや低下しています。

## いわての幸福関連指標の達成状況 「健康・余暇」

指標名	単位	現状値 (H29)	計画 目標値 (R4)	年度 目標値 (R2)	実績値 (R2)	達成度	参考) 全国順位 (東北順位)		
							H29	R2	比較
1	健康寿命 (平均自立期間)	男性② 79.32	③80.60	①80.09	①79.80	C	—	—	—
2		女性② 83.96	③84.84	①84.49	①84.31	C	—	—	—
3	がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数 (10万人当たり)	男性② 305.1	③273.8	①288.4	①293.1	C	—	—	—
4		女性② 158.7	③135.7	①143.5	①156.2	D	—	—	—
5	自殺者数(10万人当たり)	21.0	16.0	18.0	21.2	D	46位 (5位)	47位 (6位)	( ↓ )
6	地域包括ケア関連 (元気な高齢者割合)※1	98.71	98.86	98.80	99.26	A	—	—	—
7	地域包括ケア関連 (在宅医療連携拠点の事業区域数)	⑩16	27	20	20	A	—	—	—
8	余暇時間 (一日あたり)※2	③373	390	382	370	D	—	—	—
9	県内の公立文化施設における催事数※3	1,316	1,385	1,358	583	D	—	—	—
10	スポーツ実施率	61.7	③65.0	①64.0	①65.3	A	—	—	—
11	生涯学習に取り組んでいる人の割合	40.2	44.2	42.2	44.0	A	—	—	—

※1 全国を100とした水準 ※2 休日を含む1週間の平均

※3 岩手県内公立文化施設協議会加盟施設のうち、各市所在の主な12施設の催事数

令和4年版高齢社会白書が本年6月に公表されました。令和3年(2021)10月1日現在の我が国の総人口は、1億2,550万人、65歳以上人口は3,621万人となっており、高齢化率(総人口に占める65歳以上人口の割合)は、28.9%(前年28.6%)となりました。一方、同年同日現在の本県の総人口は119.6万人、65歳以上人口は40.6万人、高齢化率は34.3%(※年齢不詳分調整後、前年33.8%)となっています。

## 特集：高齢者の日常生活・地域社会への参加

今年の白書では、第1章「高齢化の状況」に特集として、昨年度実施された「高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査」の概要が掲載されていますので、その一部をご紹介します。

### ■生きがいを感じる程度

生きがい(喜びやたのしみ)を感じる程度については、生きがいを「十分感じている」が22.9%、「多少感じている」が49.4%となっており、合計すると72.3%と7割を超える人が「生きがいを感じている」と回答しています。

### ■近所の人との付き合い方など

近所の人との付き合い方については、「会えば挨拶をする」(82.8%)が最も高く、次いで「外でちょっと立ち話をする」(57.3%)となっています。また、近所の人との付き合い方別に生きがいを感じる程度を見ると、「趣味をともにする」「お茶や食事を一緒にする」などの付き合い

をしている人は、そうでない人に比べ、生きがいを「十分感じている」と回答した人の割合が高くなっています。

親しくしている友人・仲間については、79.6%の人が親しくしている友人・仲間を持っていると感じています。また、ふだんの外出(散歩などを含む)については、85.5%の人が「よく外出する」「たまに外出する」と回答しています。なお、親しくしている友人・仲間をより多く持っていると感じた人や外出頻度が高い人ほど、生きがいを「十分に感じる」と回答した人の割合は高くなっています。

### ■社会活動等への参加

現在、収入の伴う仕事をしているかどうかについては、30.2%の人が収入の伴う仕事をしていると回答しています。

また、過去1年間の社会活動への参加を見ると、社会活動に参加した人は51.6%となっており、活動内容は、「健康・スポーツ(体操、歩こう会、ゲートボール等)」(27.7%)、「趣味(俳句、詩吟、陶芸等)」(14.8%)などとなっています。社会活動に参加して良かったと思うことについては、「生活に充実感ができた」(48.8%)、「新しい友人を得ることができた」(39.1%)などとなっています。

なお、社会活動に参加した人の方が、参加していない人より、生きがいを「十分感じている」と回答した人の割合は高くなっています。

図1-3-1-1 生きがい(喜びや楽しみ)を感じる程度について(年齢・性別)

		(%)				
		十分感じている	多少感じている	あまり感じ ていない	まったく感じ ていない	不明・無回答
65歳以上	全体(n=2,049)	22.9	49.4	17.8	2.7	7.2
	男性(n=984)	23.0	50.1	19.2	2.1	5.6
	女性(n=1,065)	22.9	48.7	16.4	3.2	8.7
65~74歳	男性(n=565)	24.2	52.9	17.2	1.8	3.9
	女性(n=545)	25.7	51.0	14.9	1.8	6.6
75歳以上	男性(n=419)	21.2	46.3	22.0	2.6	7.9
	女性(n=520)	20.0	46.3	18.1	4.6	11.0

※ 四捨五入の関係で回答した人の割合の合計が100.0%とならない場合がある。

# 令和4年度ご近所支え合い活動助成金事業一覧（第1次）

この助成金は、概ね市町村単位もしくは市町村の一部で行う①高齢者が主体となって行う活動、②高齢者等をサービスの対象とした支え合い活動を対象とするものです。令和4年度の第1次募集（R3.11/24-R4.1/14）の採択状況は、新規、継続を併せて13事業、2,093千円であり、採択事業の概要は次のとおりです。（単位：円）

	事業名	事業者	市町村	事業費	助成金	事業内容
新規	陸前高田市民のグラウンドゴルフ交流事業	陸前高田市 グラウンドゴルフ協会	陸前高田市	370,000	178,000	グラウンドゴルフを通して、交流大会や体験教室に市民の参加を呼び掛け、市民同士の交流と心身の健康増進を図ります。
	高齢者等による地元企業支援及び高齢者のための情報発信事業	いわてシニアの会	盛岡市	272,406	110,000	高齢者の知識と人脈を活用した地元企業支援を行うとともに、高齢者への情報提供を行います。
	支え合い交通で地域づくり	上浜田アッシーくん	陸前高田市	426,440	300,000	公共交通機関が乏しい上浜田地区で、高齢者等の移動手段の確保を中心とした支え合いの地域づくりを図ります。
	健康麻雀を通じた支え合い交流活動	多世代交流健康麻雀会	大槌町	426,000	300,000	健康麻雀を通じた高齢者同士の交流の場づくりにより、孤立を防ぎながら共に支え合う地域づくりを行います。
	チームオレンジたきざわ活動推進事業	チームオレンジたきざわ	滝沢市	319,000	163,000	滝沢市の講座を受講した「認知症サポーター」でチームを結成して、認知症の人や介護者との交流や見守り活動を行います。
継続	復興住宅・地域コミュニティ形成支援事業	地域支援団体釜石支援センター望	釜石市	365,800	150,000	釜石市内の復興住宅に居住する高齢者を対象にコンサート・体操等のコミュニティ支援事業を行い、孤立防止や介護予防、地域コミュニティの形成に努めます。
	紫波の歴史遺産魅力探求事業	紫波歴史研究会	紫波町	210,000	150,000	町内を3ブロックに分け、専門家の協力のもと、歴史の調査記録を行う。また、普及啓発として、歴史探求ガイドツアーや講演会を開催します。
	シルバーリハビリ体操指導・普及	もりおかシルバーリハの会 石わり桜	盛岡市	150,420	150,000	介護予防対策としてのシルバーリハビリ体操の出前指導及び出前指導を円滑に実施するための体操指導者の練習会を実施します。
	古館地区みんなの茶の間普及事業	NPO法人古館まちづくりの会	紫波町	94,930	94,000	紫波町古館地区における住民主体の小規模サロンを定期的で開催し、地域における孤立の防止、介護予防活動及び子供の見守り活動を確保します。
	ふるさと吉浜の草刈りたい	ふるさと吉浜の草刈りたい	大船渡市	79,088	79,000	吉浜の記念碑周辺や再造成される防潮林の草刈り、樹木剪定を行います。
	医療・健康と福祉などの正しい知識の普及を図る活動事業	仲間の会	宮古市	151,000	150,000	地域ケアシステムに関係する職員等に対し、月1回の勉強会、相談会の開催、年1回の市民健康講座を開催し、医療・介護・認知症等の知識の習得・普及を図ります。
	交流スペースを活用した「いきいき百歳体操」とチャレンジスクール事業	NPO法人元気テラス縁	久慈市	173,674	150,000	高齢者を対象に、交流スペースを活用した「いきいき百歳体操」と講話、手芸教室などのチャレンジスクールを実施します。
高齢者が主体となって行う事業	上の山ボランティアの会	滝沢市	127,450	119,000	滝沢市上の山地区の高齢者が主体となって、高齢者の日常生活を支援します。	
	13事業			3,166,208	2,093,000	

（この助成事業は、公益財団法人いきいき岩手支援財団の「いわて保健福祉基金助成金」の特別枠事業として設けられています。）

岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンターは、特定非営利活動法人いわての保健福祉支援研究会が岩手県から委託を受けて運営しています。 〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 2-4-16 やまのえんビル1階 TEL 019-604-8862 URL <http://www.hfk.or.jp>